



隊員の方は花火が本職という訳ではないのですよね？
(長田) 本職ではないですが、熟練の方の指導の下で披露しています。普段は普通に働いていたり、家庭にいたり、学生だったりしますよ。

秘めた才能を見込まれた訳ですね。初めて手筒花火を体験した時の感想はどうでしたか？
(竹内) 初めて体験した時は必死で、気が付いたら終わっていたという感じでしたね。回数を重ねることに余裕が出来て、いかに綺麗に見せるかこだわって披露しています。手筒花火の締めで爆せた後の爽快感がたまらないですよ。病み付きになっていますね。しかし熱いでしょうに、手筒花火を披露する人達は皆楽しそうですよ。

観客の方は花火が本職という訳ではないのですよね？
(長田) 真面目なところでしょか。注意などをしっかり聞いて、基本的に忠実に披露しているの、全体が綺麗にまとまっているように思いますね。

やはり、新城市の方が集まっているのでしょうか？
(長田) 新城市に住んでいる人や元々住んでいた人、働いている人など新城市に縁のある人達ですね。また、サポートなどしている男性の隊員もいますよ。確かに長田さんも男性ですよ。そういうのは、女性と男性で手筒花火も何か違うのでしょうか？

観客の声援の中で良い雰囲気でした。
(竹内) 知り合いの観客が多いのも影響しているのかもしれない。意外に手筒花火をやっていることを知られていないのか、なかなか会場に足を運んで貰えないのは悩みですね。ナイアガラの花火などが良く見える桟敷席から離れた会場なので、知っていないと行きにくいかもしれませんね。打上花火が始まると、会場の行き来が難しくなってしまうます。

東三河の祭の華といえは、なんといつても手筒花火です。勢いよく火の粉を噴き出す筒を抱え、降り注ぐ火の粉の中で静かに構える姿は実に勇壮です。そのため男性のイメージが強い花火ですが、女性も見かけるようになってきております。中でも新城市で開催される新納涼花火大会では、全員女性という一味違った手筒花火が披露されています。

今年ナイアガラを見たなら、来年は手筒花火と来て貰えると良いですね。
(竹内) そうなんです。皆さんにもっと来て貰えると良いのですが。今年ナイアガラを見たなら、来年は手筒花火と来て貰えると良いですね。

そういえば、他の花火に参加されることもあるのですか？
(長田) 機会があったら、他の花火にも参加していますよ。

8月には、宮城県の南三陸町で開催された八幡川かがり火まつり福興市に一員として参加させてもらいました。復興支援のため南三陸町役場に派遣されている新城市役所の方からの縁で、新城市や南三陸町の様々な方の御協力で手筒花火を披露出来ました。向こうでは手筒花火は珍しい物だと思いますが、どうでしたか？

手筒花火が初めてのところだったので色々苦労もありましたが、皆さんから盛大な拍手を貰えました。

終わつた後は、関係者を含めて皆で喜びを分かち合い感動でしたよ。この繋がりを大切に、次回も続けていければと思います。

お話を伺い、様々な縁に支えられていると語る姿が印象的でした。縁を結び、絆となって紡ぎ出される手筒花火、皆さんも一度御覧になってはいかがでしょうか。

新納涼花火大会は、毎年8月13日に新城市の桜淵公園内で開催されます。

訪問日：平成26年12月25日(木)
取材者：県民安全防災課 三浦 仲村



八幡川かがり火まつり福興市にて
～宮城県復興応援ブログ ココロプレスより～



左から長田さん、竹内さん

亀姫手筒隊結成は、どのような経緯だったのでしょうか？
(長田) 新城市内でも各地域で盛んに手筒花火が行われておりますが、何分伝統的な花火なので、自由が利かないところもあります。そこで8年ぐらい前に、各地で男性に交ざり手筒花火を披露していた女性を集め、新納涼花火大会で披露したことが始まりですね。当初は経験者だけでしたが、色々な繋がりや竹内さんを始めとする隊員が入って今に至りますよ。竹内さんは元々経験者ではなかったのですか？亀姫手筒隊に入った経緯はどんな感じだったのですか？
(竹内) 知り合いだった長田さんから「やる？」と誘われたので、「良いよ、やってみよう」と入ることにしましたよ。二つ返事で引き受けたんですね。手筒花火と言えは、男性でも普通は二の足を踏んでしまうと思うのですが、迷うことは無かったのですか？
(竹内) 誘われたことはやってみようという性格なので、とりあえずやってみようと思ったんですよ。
(長田) そう、竹内さんなら断らないだろうと思つて誘いました。